

えんがわ

第55号

2011年10月発行

発行元 衣笠病院グループ
衣笠須賀市小矢部
2-23-1
Tel 046-852-1182

月に兎がいた時代

日本には月を拝む風習が非常に多くあります。中秋の名月、十三夜(後の月)だけでなく、それ以外にも十七夜、十九夜、二十三夜(下弦の月)、二十六夜などは、それぞれの月齢に対する祭神の月が昇ってくるのを待つて、拝む民間信仰が広く行われていました。これらをまとめて「月待ち信仰」と呼ばれています。その夜は、人が集い「月待ち講」(念仏講)を行いました。その目的は夜遅くまでお勤めや食事をして楽しむ事だったようです。現在でも、これを記念して建てられた、二



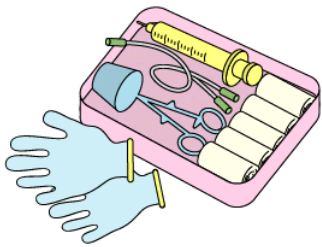
十三夜塔や二十六夜塔などが各地に残っています。花のお江戸の三大月見といえ「中秋の名月」と「後の月」そして「二十六夜待ち」と「後の月」は静かなお月見、「二十六夜待ち」は夜半過ぎから明け方に昇ってくる細い月を待ち、飲めや歌えやの騒ぎだったようです。二十六夜の月は逆三日月に欠けていますが、欠けた部分が満月の形に淡く光り、その中に後光に包まれた阿弥陀三尊が浮かびあがりま

す。横浜や横須賀でも二十
六夜待ちは戦前まで続いて
いたようです。秋の夜長、
たまには月を肴に。
衣笠病院健康管理センター
事務長 鈴木 雅之

えんがわ在宅 ひとくちメモ

中材業務はこんな 仕事をしています

私たちの生活の中には、いろいろな菌が存在しています。その菌は目に見えませんが、人間の体や空気や物などに存在し、体が弱ったり傷があったりすると、体内に入り病気を引き起こします。体についた菌は、うがい・手洗い・入浴などで体をきれいにしていれば、ほとんどがなくなります。しかし、手術や在宅医療で使う器具は洗っただけでは菌は消えません。またこの器具は、菌がゼロになるまでの



なるまでの工程にしな
いと体内に
入ってしまった
い病気を引
き起こして
しまうので

す。そこで、私たち中材業務が必要となります。中材業務は、器械・器具を、専門的に洗浄・点検・滅菌を行い菌をゼロにします。私たちは、目立たない場所での業務をしています。責任のある重大な仕事だと思っています。専門的研修を受けた職員がこの業務を行っています。きつと皆様の訪問診療や訪問看護で使われていると思います。私たちが責任をもって業務を行っていただきますので安心して下さい。

衣笠病院 看護部
手術室・中材師長
加藤 久子

あつという間に夏が終わって、秋の気配が迫ってきました。節電の夏の次は節電の冬が来ます。みなさん、体調管理には十分お気を付け下さい。風邪などひきませんように。